

●●銀行 御中

**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator

# 投資信託ラインナップ<sup>o</sup>分析結果 マネジメントサマリー

2024年●●月

# 公募追加型株式投信の分布（本数集計）

分類 \ リスク水準		risk01 (0~3%)	risk02 (3~6%)	risk03 (6~9%)	risk04 (9~12%)	risk05 (12~15%)	risk06 (15~18%)	risk07 (18~21%)	risk08 (21~24%)	risk09 (24~27%)	risk10 (27%~)	5年未満	総計
国内債券型		109	7									36	152
国際債券型	グローバル債券型	14	196	150	22	3	1					103	489
	北米債券型		15	52	12	2						37	118
	欧州債券型			20	4	2						5	31
	資源国債券型		1	11	48	1	8	9				2	80
	ハイイールド債券型		1	20	94	2	1			8		18	144
	新興国債券型		1	28	71	23	5				6	18	152
国内複合商品型	国内バランス・安定型	6	13	4	1	1						7	32
	国内バランス・一般型	1	2	5	2	5						4	19
国際複合商品型	国際バランス・安定型	15	135	66	41	3	1					95	356
	国際バランス・安定成長型	2	26	149	109	23	3	1				109	422
	国際バランス・成長型	1	2	25	114	41	6	2	1			116	308
転換社債型			1	3	9	3						24	40
国内株式型	国内株式アクティブ型			2	4	158	212	48	17	6		85	532
	国内株式インデックス型					86	62					25	173
	国内株式業種特化型						1	4	3	1			9
国際株式型	グローバル株式型			1	1	63	248	59	43	15	20	359	809
	北米株式型					9	77	39	16	4	10	135	290
	欧州株式型					2	12	14	3	1		4	36
	国際資源関連株式型					7	4	2	2	3	18	6	42
	アジアオセアニア株式型					4	37	46	45	28	5	40	205
	エマージング株式型						44	31	4	3	21	28	131
国内不動産投信型					1	40	50					33	124
国際不動産投信型				1			35	106	21	2	13	69	247
派生商品型					1	1	2			2	12	46	64
その他		33	10	11	1	2	7	1		1	3	7	76
総計		181	410	548	535	481	816	362	155	74	108	1411	5081

# お取扱いファンドの分布

## お取扱いに限定した公募追加型株式投信のファンド分類×リスク水準の本数

分類 \ リスク水準		risk01 (0~3%)	risk02 (3~6%)	risk03 (6~9%)	risk04 (9~12%)	risk05 (12~15%)	risk06 (15~18%)	risk07 (18~21%)	risk08 (21~24%)	risk09 (24~27%)	risk10 (27%~)	5年未満	総計
国内債券型		5											5
国際債券型	グローバル債券型	1		5									6
	北米債券型												0
	欧州債券型												0
	資源国債券型				1								1
	ハイイールド債券型				2								2
	新興国債券型			1	1								2
国内複合商品型	国内バランス・安定型		2										2
	国内バランス・一般型		1										1
国際複合商品型	国際バランス・安定型		2	2								1	5
	国際バランス・安定成長型			2	1								3
	国際バランス・成長型				1	1							2
転換社債型													0
国内株式型	国内株式アクティブ型					1	6	1					8
	国内株式インデックス型					1	1						2
	国内株式業種特化型												0
国際株式型	グローバル株式型					1	3	3	1		1	2	11
	北米株式型						1	1				1	3
	欧州株式型												0
	国際資源関連株式型							1					1
	アジアオセアニア株式型												0
	エマージング株式型						1						1
国内不動産投信型						2	1						3
国際不動産投信型								3					3
派生商品型													0
その他													0
総計		6	5	10	6	6	13	9	1	0	1	4	61

# お取り扱いファンド（店頭）ラインナップの状況（1）

店頭取扱いファンド数は、61ファンドですが、そのうち4ファンドが運用開始から5年未満ですので、56ファンドについてのラインナップ分析となります。ファンド分類×リスク水準の分布表では、顧客の様々な投資ニーズに対応するため、各リスク水準をカバーできているか否か重要です。その観点からも、現行のラインナップは、リスク水準を概ね網羅しており、十分に顧客ニーズをカバーできるラインナップであると思われます。

毎月分配型ファンドの取り扱いが12ファンドとなっています。各ファンドの預かり残高と直近の販売状況等を勘案して、新規の販売を停止し、代わりに同じリスク水準または同じカテゴリーの新NISA成長投資枠対象ファンドを追加検討する余地があるでしょう。

既存ラインナップを見直すのであれば、リスク水準1、リスク水準3、リスク水準6に偏りが見られることから、これらを整理しリスク水準5のファンドを追加するなどの方策が考えられます。その際は、前述の毎月分配型ファンド整理後の状況を踏まえて実施すべきでしょう。

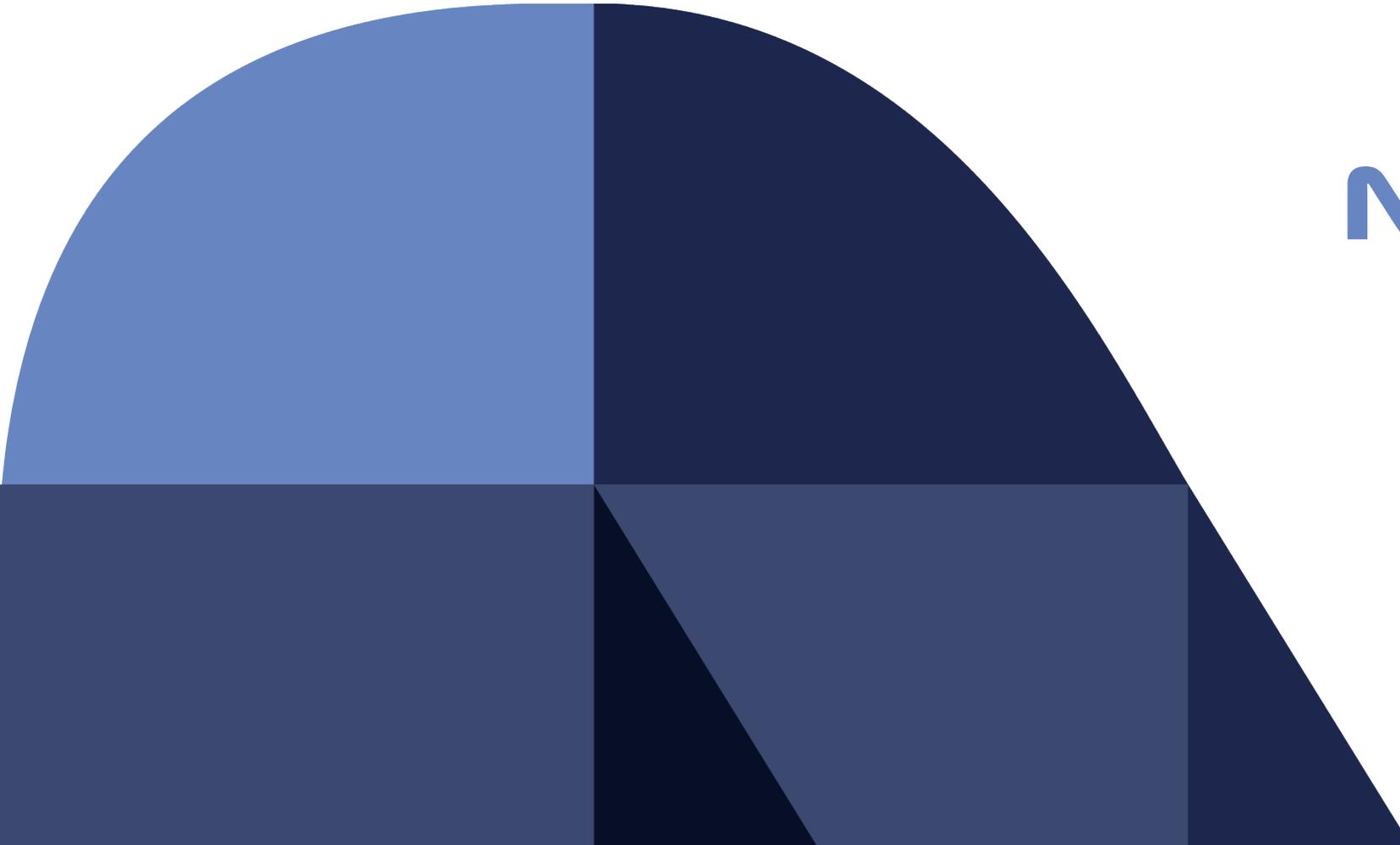
次ページ以降、分類別のコメントを掲載しておりますが、これらは、今後、ラインナップの見直し、拡充を検討する際の参考として頂くために記載したものです。（ファンド分類は、全ての分類をカバーする必要性はありません。）

## お取り扱いファンド（店頭）ラインナップの状況（2）

ファンド分類	コメント
国内債券型	<p>すべてリスク水準1のファンドとなっています。インデックスファンドが2ファンドあります。同じインデックスを対象とするファンドなので、過去のトラッキング・エラーやファンドの純資産の状況等を比較したうえで、いずれかのファンドに絞り込むことを検討してはいかがでしょうか。</p>
国際債券型	<p>リスク水準2のファンドは存在しませんが、バランスファンドでリスク水準2をカバーしているため、あえて国際債券型ファンドでカバーする必要性は低いものと考えられます。</p> <p>取扱いの11ファンドのうち7ファンドが、毎月決算型のファンドとなっています。毎月分配型ファンドは、一時期に比べ分配金が低下しており、それに伴いニーズも低下傾向にあるかと思えます。預かり残高と設定状況などをもとに、販売停止などを検討する余地があるでしょう。</p> <p>NISAの成長投資枠対象ファンドはグローバル債券型が2ファンドと新興国債券型ファンドが1ファンドの合計3ファンドです。NISA成長投資枠のファンドラインナップを検討する際には、現行の3ファンドとは異なるファンド特性を持つものとして、米国ハイ・イールド債を主要投資対象とするファンドが候補となるでしょう。</p>
国内株式型	<p>各ファンドのリスク水準は、水準5が2ファンド、水準6が7ファンド、水準7が3ファンドとなっています。</p> <p>インデックスファンドは、2ファンドあり日経平均連動型は水準6、TOPIX連動型は水準5です。</p> <p>水準6には、日経平均連動型ファンド以外に6ファンドが該当してします。水準6は、国内株式型ファンド全体で見ても最もファンド数の多い水準ですが、他の水準と比較しても集中度が高いように思われます。水準6のファンドで価格特性の類似したファンドを絞り込む際は、現在の行内残高や販売状況等を考慮する必要があります。</p> <p>ラインナップの追加を検討するならリスク水準5に該当するファンドが考えられます。「三菱UFJ TOPIX・ファンド」と「ひふみプラス」が現行ラインナップに該当します。「ひふみプラス」は、運用開始当初は、TOPIXとの相関は高くありませんでしたが、運用資産の増加に伴い、組み入れ銘柄も大型化しTOPIXとの相関が高まっているように思われます。</p> <p>上記2ファンドと異なる特性を持ち、また顧客がファンドの内容を理解しやすいという観点から、配当利回り株ファンドが候補となり得るでしょう。</p>

## お取り扱いファンド（店頭）ラインナップの状況（2）

ファンド分類	コメント
国際資産複合型	5年以上運用実績のあるファンドは9ファンドあり、リスク水準2から5までカバーしています。リスク水準5のファンドはつみたてNISA専用のファンドであり、NISA成長投資枠に限るとリスク水準2から4までになります。リスク水準5は、国内株式型と国内REIT型でカバーしており、国際資産複合型でカバーする必要性は高くないと思われます。運用手法の面では資産配分固定型と変更型の双方がラインナップされています。
国際株式型	5年以上運用実績のあるファンドは12ファンドあり、リスク水準は水準5～8、および10に分布しています。分類として幅広くカバーしていますが、NISA成長投資枠対象ファンドは、8ファンドでリスク水準6がインデックスファンド2ファンド、他のファンドはリスク水準7（4ファンド）、リスク水準8（1ファンド）、リスク水準10（1ファンド）といった分布になっています。グローバル株式型と北米株式型の配当利回り株ファンドがラインナップされたいますが、毎月分配型のためNISA成長投資枠の対象ではありません。NISA成長投資の国際株式ファンドを充実されるのであれば、決算頻度の少ない配当利回り株ファンドが検討対象となるでしょう。
不動産投信型	6ファンドのうち5ファンドが毎月分配型のため、NISA成長投資枠の対象ファンドは国内不動産投信型が1ファンドのみといった状況です。NISA成長投資枠の国際不動産投信型がない状況ですが、国際不動産投信型のリスク水準7は、他の分類で一定数のファンドがあり、あえて品揃えする必要性は低いでしょう。
国内資産複合型	取り合扱い3ファンドのうちNISA成長投資枠対象は1ファンドで、リスク水準は2となっています。ラインナップ全体のするリスク水準等から1ファンドのみで十分でしょう。
転換社債型	現状、ラインナップされていません。リスク水準のカバー状況、転換社債型ファンドの価格特性の特殊性等から、あえてラインナップする必要性は低いと考えられます。



**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator